

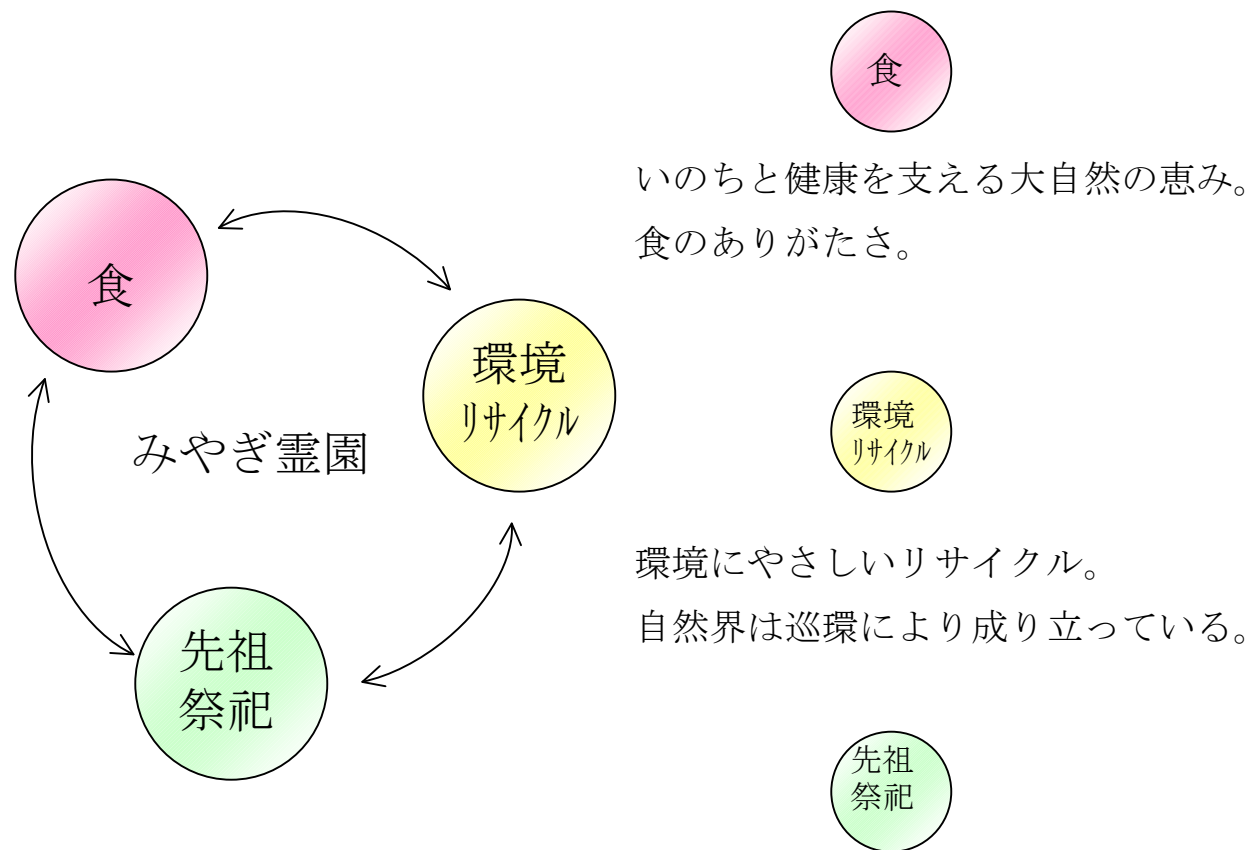
みやぎ霊園「いのちの環^わっか」(仮称)活動への取組み

霊園は、本来、故人を追悼する場です。しかし、それだけの場所ではありません。人々がお墓をお参りするときは、故人の魂の安寧を祈り、自分と家族の健やかな生活を見守って欲しいと願います。また、故人への近況報告であったり、人生の転機を迎えての決意表明かもしれません。霊園は、追悼の場に加えて、自己を見つめなおす場所でもあるのです。

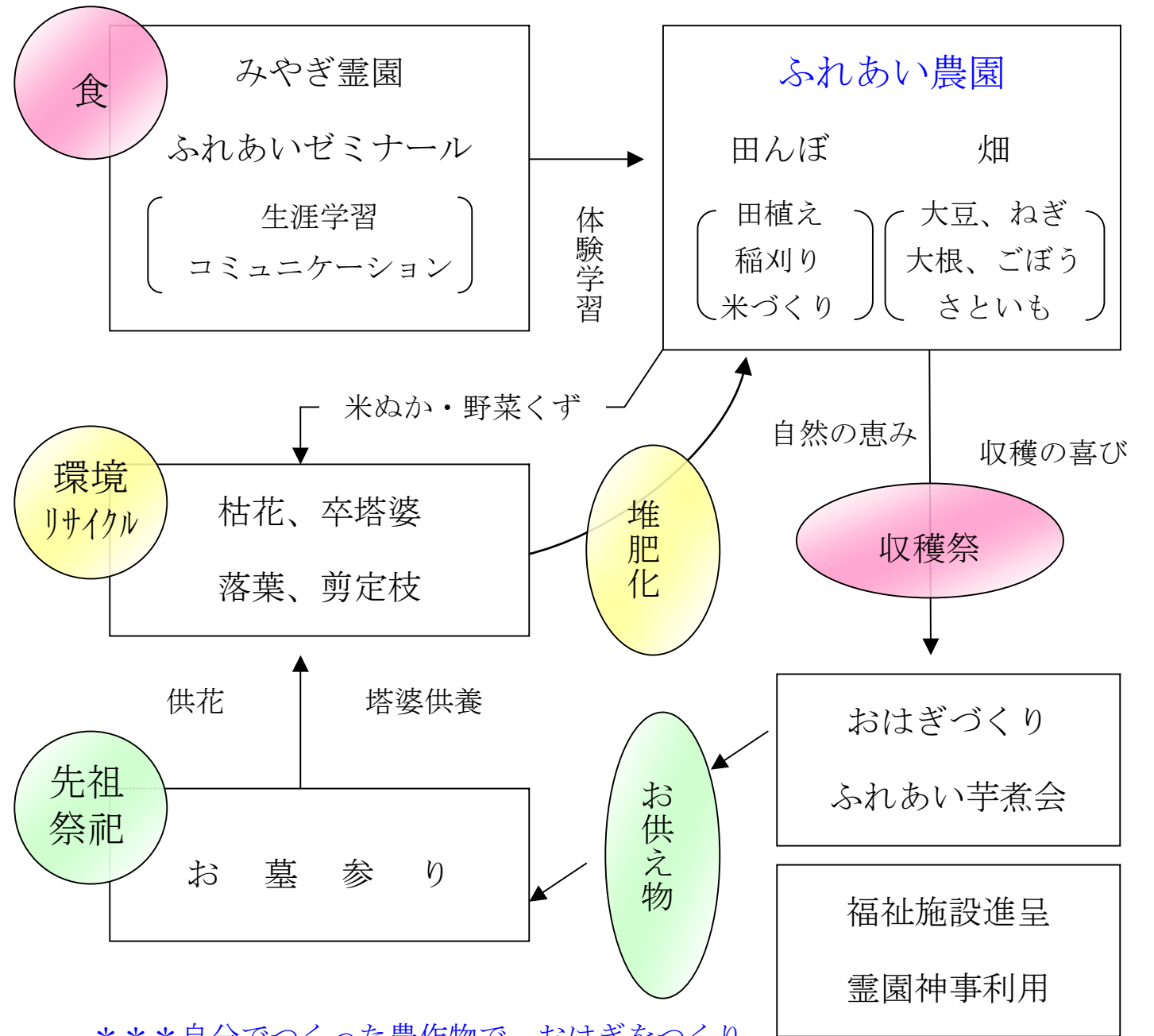
現代に生きる私達は、日々の喧騒と漠然とした不安から、自己を見失いがちです。悠久の時の流れと大いなる自然界のなかに自己は存在し、豊かな生命に恵まれている。“いのちの環^わっか”活動は、豊かな自己を見つめなおし、楽しく健やかな生活をおくるお手伝いをするための提案です。

財団法人みやぎ霊園では、この活動を通じて、社会に向けて“命の豊かさ”と“いきいきと生きる”メッセージを発信いたします。

① 全体イメージ



② 具体的行動



自分でつくった農作物で、おはぎをつくり、お墓参りをする。お墓参りの供花や卒塔婆が、農作物の堆肥となる

③ 目標

- ふれあいと生涯学習。子供からお年寄りまで楽しく参加できる。
- 命の豊かさを見つめなおすことで、いきいきしたと生活を過ごす。
- 公益的活動の一環として、市民へのメッセージを発信する。